

病害虫発生予察情報

1 2 月月報

平成 23 年 1 月 17 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2010 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差		
上旬	16.2	3.2	5.3	2.5	10.4	2.6	89.0	706	69.1	132
中旬	12.6	1.1	2.8	1.5	7.7	1.5	21.0	140	54.0	92
下旬	11.7	0.8	-0.1	-0.4	5.9	0.6	66.5	801	72.5	110
平均	13.5	1.7	2.6	1.2	7.9	1.5				
合計							176.5	492	195.6	110

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979~2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬はかなり高く、中・下旬は高かった。

降 水 量：上・下旬はかなり多く、中旬は多かった。

日照時間：上・下旬は多く、中旬は平年並だった。

< 天候概況 >

上旬：3日は低気圧からのびる前線が関東甲信地方を通過し、午前を中心に雷雨となり、7日から8日にかけては、低気圧が関東の南を通過した影響で雨や曇りとなった。その他の日は冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ、概ね晴れた。

中旬：初めと後半は冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ概ね晴れたが、13日から14日にかけては前線を伴った低気圧が通過し、また16日は気圧の谷の影響により曇りや雨となった。

下旬：21日から22日にかけてと30日は低気圧が通過し曇りや雨となったが、その他の日は冬型の気圧配置により晴れた。なお、東京では12月30日に、平年より3日早く、また昨冬より13日早く初雪を観測した。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトの生育は概ね順調であった。促成イチゴは収穫始めがやや遅れたが、生育については順調に経過している。

葉根菜類：コマツナ、ハウレンソウは前半、気温がやや高めに経過したため、生育が早まった。施設コマツナでは低温障害はみられていない。春どり用のキャベツ苗の生育は概ね順調であった。ダイコンは収穫が遅れたものもみられたが、品質的には問題はなかった。遅まきのニンジンも収穫が遅れており、肥大もやや不良であった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ(施設)

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ(施設)

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナミハダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類(施設)	< 少 >	発生は少なかった。
-------------	-------	-----------

(2) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
シクラメンホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

(3) 島しょの病害虫

- 大 島：トルコギキョウで根腐病の発生が多かった。
 神津島：レザーファンでまだら黄化症の発生がやや多かった。
 小笠原：アブラナ科野菜でハスモンヨトウの発生が多かった。
 その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
 などをお知らせしています。